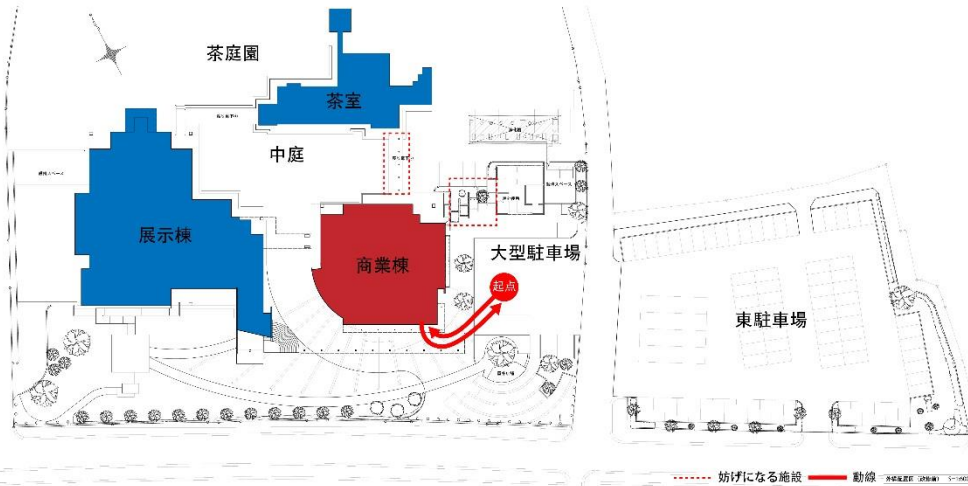


静岡県ふじのくに茶の都のミュージアムリノベーション計画
 - 動線・外構・配置の計画 -



図①



図②

1. 背景

静岡県島田市にある「お茶の郷博物館」(旧名)に対して、昨年度、小島がレストラン等と内装についてまとめた。今年は動線の問題に対する改修を行っている。

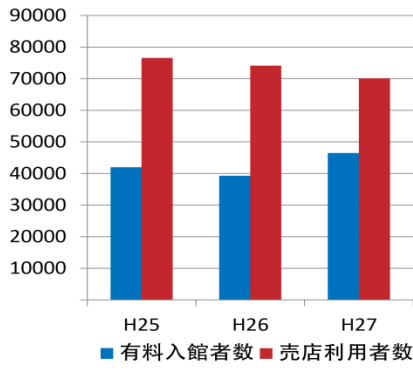
2. 目的

計画地内の茶庭園と博物館本館と商業館、三つのエリアを一つの空間にとらわれず、まわりの空間も考慮することで、三エリアの統一感

を持つリノベーションを提案する。

3. 計画地内の動線の現状・問題(図①)

現況の動線は、大型駐車場を起点として、西南側ショップへ優先的に入る傾向が強い。しかしながら職員の話によると、外国人観光客は、ショップにて、ショッピングを楽しみ、博物館等へは向かわない。近年のショップの利用者数は本館のより2倍になっている(図③)



図③

一方、ショップ前の通路とアーチ道を通って、団体観光者が館内に案内される場合以外直接博物館1階の入口や中庭に着くお客様は少ない。

以上の調査の結果より現況動線は、各のルートに深い影響をもたらし、博物館全体の空間利用率を向上させるため、新たな動線を作り出すこととした。

4-1. 提案概要

新たな動線を設計するで、新動線の誘導性を向上させ、小堀遠州の作庭雰囲気踏襲し、歴史建物と現代建築の統一性を持たせるため、吹き寄せの外構を用いり、東駐車場から中庭まで、合理的に設置した。

そして、中庭は来館者を博物館や日本庭園まで誘導するための主要な役割を担うこととなった。

4-2. 動線計画(図②)

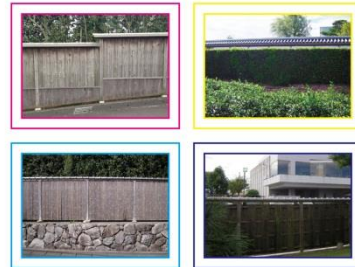
大型駐車場から中庭に至る新たな動線を作るため、中庭の東側の渡り廊下に開口を作り、商業館と屋外トイレと繋がる花壇を取り除いて、従業員用駐車場を新動線に変更する。一方、商業館前の旧来動線は吹き寄せを設置することで目立たせないようにする。

4-3. 吹き寄せ垣詳細

4-3-1. 吹き寄せを利用する理由

既存の柵を参考、全体の統一性を守る。

地と図原理で既存建物の壁を地にし、吹き寄せを図にする。



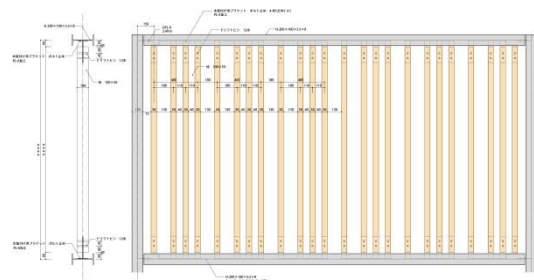
4-3-2. 吹き寄せの素材

県産材のヒノキを利用する。

ユニットの H 型鋼を防水防酸化の塗装にする。



4-3-3. 吹き寄せの基本寸法 (詳細)



4-3-4. 吹き寄せの全体配置



4-3-5. 各部の詳細

南側

東側正面

北側新動線

4-4. 模型写真

5-1. 参考文献